

声

今年度の入谷打囃子は12月1日の「子どもたちの郷土芸能発表会」で終了の形となりました。これも7名の講師の皆さんに支えていただいた成果であると感謝いたします。以下は講師の皆さんからのお言葉を一部紹介します。

- 打囃子としての祭りが上手に表現できたと感じました。
- 児童の目標に向かう姿勢がよかった。
- 本番に強い入谷の子どもたちを見せてもらいました。
- 子どもたちと活動することができ、元気・力をいただきました。

上記のほかにも「学芸会の発表をメインにした日程が組めれば…」「新しい風が入れば…」等の感想があり、これからの課題をいただきました。5ヶ月に渡る指導、ありがとうございました。

ホールに鳴り響くお囃子



講師の方々とベイサイドアリーナ玄関前で記念写真



6年生代表の挨拶

12月1日(日)、ベイサイドアリーナ文化交流ホールを会場に「子どもたちの郷土芸能発表会」が開催されました。入谷小学校では4年生から6年生までの児童が参加し、入谷打囃子を披露しました。上に掲載された写真は演技後の指導をしていただいた講師の方々と集合写真です。6月13日の学習会開講式を含め11回の練習を積んできました。保護者の方々には学芸会で披露し、この日は町民の方々に見ていただく日でした。7名の講師の方の前で今年度の演技を終え、無事やり切った顔の子どもたちです。子供たちにとって打囃子は入谷地区の大きな活動の一つです。学芸会を終え、振り返りを行う教室での時間にも、打囃子演技の「ビデオを見たい。」「出来が気になる。」と言っていました。入谷打囃子に対する子供たちの思いを感じる場面でした。打囃子の活動とともに地域との絆を子供たちは感じているのです。

感じる地域との絆



いりごみ通信

第13号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部

アンケートへのご協力
ありがとうございました。

学校保健委員会前、5校時に行われた学習参観には保護者の皆様に多数おいでいただきありがとうございました。参観の折に記入をお願いしていたアンケートの一部をご紹介します。

- 今日の講師の先生のお話は、ためになりました。ありがとうございました。
- 入谷小は学年問わず、皆が楽しく過ごしていると思うので、とても安心していきます。行事も活動もいいなと思います。
- 子どもたちの成長を感じました。発表を見て成長を感じられました。

以上の記入がありました。これからもご協力、よろしくお願いします。

12月5日(木)入谷小学校では、二学期の学習参観と学校保健委員会が行われました。学校保健委員会には、学校医の菅原政美様、学校歯科医の阿部公喜様、学校薬剤師の尾形菊郎様においでいただき、ご講話とご指導をいただきました。講話では、普段聞き慣れない言葉の「運動器」について詳しく話していただきました。また、各担当から子供達の身体測定、体力テストなどの結果データをもとに健康だけでなく成長を考慮する環境にはぜひ必要とされる会です。ご参加ありがとうございました。

子供たちの健康を考える



地域学校協働本部とは？

CSについて知ろう！

前号では「地域学校協働活動」について掲載しました。今号では、その活動を推進する体制について掲載します。

地域学校協働本部とは、多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制として、平成27年の中央教育審議会の答申で提言されたものです。

連携の体制は様々な形態があり得るため、地域学校協働本部について法律上の規定はありませんが、改正後の社会教育法第5条及び第6条の規定では、教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供するに当たって、地域住民等と学校の連携協力体制の整備が求められており、地域学校協働本部の整備のための支援もその取組の一つです。

地域学校協働本部の整備にあたっては、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」を推進し、「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくことを前提とした上で、

1. コーディネート機能
 2. 多様な活動
(より多くの地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施)
 3. 継続的な活動(地域学校協働活動の継続的・安定的実施)
- の3要素を必須とすることが重要です。



ホームページ
へのQRコード